

## 親子で楽しく運動会!!



バルーンのなかで遊ぶ子どもたち

10月28日、生きいき健康センターで子育て支援センター主催のミニミニ運動会が開催されました。

この運動会は、乳幼児を持つ子育て中の方を対象に行われ、今年で9回目を迎えました。当日は70組を超える親子が参加。かけっこやハイハイ競争など楽しいプログラムに大きな声援をおくっていました。今回は大きくふくらむバルーンを取り入れ、子どもたちは大興奮の様子でした。かわいい子どもたちのこれからの成長が楽しみです。

## 「ボンパク」大川原峡で開催



ボランティアガイド吉川さんの話を聞く参加者

10月17日、24日に大川原峡でボンパク（都城盆地博覧会）が開催されました。

内容は大川原峡の自然散策（桐原の滝、大川原峡、悠久の森）がテーマで、曾於市観光特産開発センターが企画しました。都城市を中心に三股町や志布志市、遠くは宮崎市、鹿児島市から多くの参加がありました。

参加者は「曾於市にこれほど自然の豊かなところがあるとは知らなかった。来年もぜひ参加したいです」と話しました。

## 農業発展のために新しい力を



新規就農者の皆さん

10月13日、市役所本庁で新規就農者支援対策事業認定書交付式が行われました。

この制度は曾於市の農業を担う新規就農者を確保支援するため、認定後2年間に渡って毎月5万円から15万円を支援する制度です。今回は8人が認定されました。式では、市長から1人ずつ認定書が手渡され、激励の言葉がありました。認定者の皆さんは「自分の目標に向かって頑張ります」と力強く抱負を述べました。

## 避難所にダンボール製簡易ベッドを



日之出紙器工業社長 塩崎巖さん（右）

10月19日、市役所本庁で日之出紙器工業株式会社（日置市）と災害協定を締結しました。

この協定は災害時の避難所で、長期にわたる避難者に簡易ベッドを迅速に提供するものです。

簡易ベッドはダンボール製で誰でも簡単に設置でき、耐久性にも優れています。長期避難者は床に寝ることが多く、血栓など健康上の二次被害が問題となっていますが、それを軽減することができそうです。避難所生活の大きな支えになることが期待されます。



式典の様子

## 半世紀の絆を振り返り

10月29日、末吉総合センターで「合同金婚式並びにひとり金婚者のつどい」が開催されました。

当日は、結婚50年を迎えた57組の金婚者と10名のひとり金婚者が出席し、式典とアトラクションが行われました。

出席者を代表して、小濱俊明おばましむみさんが「光陰矢のごとしと言いますが、長いようで短い50年でした。これからも健康に留意し、一市民として何らかのお役に立てればと意を新たにしています」と謝辞を述べました。



平和のメッセージを朗読する外山さん

## 平和への願いをこめて

10月21日、大隅文化会館で市戦没者追悼式が行われました。

遺族や関係者など398人が参列。献詠や代表者による献花があり、参列者一人ひとりが戦没者の冥福を祈りました。また、平和メッセージを大隅中学校2年の外山雄大とやまゆうだいさんが朗読し、修学旅行での平和学習で感じたことをもとに、平和のありがたさと大切さを来場者に伝えました。

平和と繁栄の陰には多くの尊い犠牲があったことを後世に伝え、戦火のない平和への誓いを新たにしました。



宝くじ助成金で整備されたテントなど

## 宝くじの助成金でテントなどを整備

平成27年度コミュニティ助成事業で、財部北地区公民館にテントやアルミベンチなどを整備しました。

この事業は、宝くじの受託事業収入を財源として実施している助成事業です。地区公民館組織等が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感と自治意識を盛り上げることを目指し、活動に直接必要な設備の整備を支援しています。この備品が、今後の公民館行事に活用され、地域の活性化につながることが期待されます。



全国表彰を受けた菅牟田子ども会

## 特色ある子ども会活動が認められ全国表彰

10月17日、群馬県で行われた全国子ども会連合会50周年記念式典で菅牟田子ども会が表彰されました。

菅牟田地区は、子どもたちが減少するなか子ども会の統合を行い、特色ある子ども会活動の継続発展に努めています。

「ホタルと水車の夕べ」でのそば作りや竹太鼓の演奏、十五夜、鬼火焚き等の伝統行事を継承し校区民に元気を与えています。今後の活動が更に地域の活性化につながることが期待されています。